

第1章 学校経営計画

1 目指す学校像

(1) 教育目標 『ともにあゆみ、ともにかがやく』

～児童生徒一人一人が夢を持って可能性を伸ばし、
地域で自分らしく生きることをみんなで支援する～

(2) 目標具現化の柱(中期的目標)

児童生徒・職員が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、地域の方が「あって良かった」と思う、地域に輝きを発信し続ける学校

＜元気＞心身の健康を育み、安全で安心した生活ができる学校(安全・安心)

＜笑顔＞自ら学び、考え、達成感があり、確かな成長を育む授業を行う学校(専門性)

＜貢献＞かかわるすべての人とともにあゆみ、保護者・地域から愛され、信頼される学校(連携)

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	中心部署
元 氣	危険察知や自分の身体を守る習慣づくり	日常生活の指導や防災・交通安全等の学習会で身体を守る体験的活動の充実やマニュアルの整備	児童生徒は自分で考えて身を守る行動がとれ、教職員は緊急時の役割が分かって行動できる	保健給食生活安全生徒指導
		体力の向上を目指した活動と心身の健康や安全につながる活動の継続的な実施	児童生徒が日常的に心身の健康や安全に生活する上で必要なことが分かり、主体的に活動に取り組んでいる	保健給食体育
安 全	安全で安心した生活ができる環境づくり	挨拶の奨励や多様性と互いの良さを認め合う機会の充実	児童生徒・教職員が、自他を大切にする言動をとっている	生徒指導
		日常的な事故防止や衛生的な環境を保つための意識と行動	教職員が安全で清潔な環境を作るために整頓、清掃、廃棄などに自ら取り組んでいる	生活安全保健給食庶務委 事務
笑 顔	良さを伸ばし自分で考え、挑戦する姿を引き出す授業づくり	時期ごとのテーマ、“学校生活づくり”について確認、検討、改善する時間の確保	教職員が児童生徒の興味や思考に沿って、柔軟に学習を展開しながら学校生活づくりをしている	教務教育課程 PJ
		単元カードに基づく、計画的で視点を明確にした授業検討と評価の実施	教職員が子どもを主語にした授業づくりをすることで、児童生徒の学びが広がり、意欲と主体性が育まれている	研修
		自立活動シート等を活用した実態把握と障害特性の理解や専門性向上につながる研修の実施	今指導すべき目標を導き出し、指導場面を明確にした取り組みにより、児童生徒が持てる力を発揮し活動に取り組んでいる。	自立活動
	対話と深い学びのための ICT 活用・指導の充実	障害特性や発達段階に応じた理解やコミュニケーションを促すツールとしての ICT 活用	目的を明確にした ICT 活用で授業や支援が充実し、児童生徒が主体的に考え、伝えながら活動に取り組んでいる	ICT PJ 自立活動研修教務(情報)
	チームで学校運営に取り組み、働きがいを感じる職場づくり	働きやすい環境にするための具体的な目標設定と実践	教職員が自分事として業務改善できることを考え、取り組んでいる	教育課程 PJ
貢 献	豊かな心と挑戦する心を育む指導と発信	校内外での表現活動の推進と開かれた教育活動の実施	様々な学習活動を通して児童生徒が思いを伝えたり他者の表現から学びを得たりする姿が増えている	学習指導
	共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	共に育つ交流(地域交流、「交流籍」を活用した交流及び共同学習、学校間交流)の充実と、活動の成果の共有や学習の様子の情報発信	各交流と学習の成果を保護者や地域、連携校が共有している	地域連携
	保護者や地域と繋がる指導や支援の充実	個別の教育支援計画に基づくキャリア教育(進路指導)の理解と指導の充実	本人、保護者が様々な情報を元に自己の課題に取り組み、主体的に進路を決定することができる	進路指導